



だいくらスキー場でのスキー教室風景

(2023年2月)

町長

下表のとおりです。

問

今シーズンの4スキー場の入場予想は、

4スキー場	2024年シーズン	今シーズン入場予想
会津高原大がねスキー場	108,290人	155,158人
会津高原だいくらスキー場	64,684人	71,800人
会津高原森戸スキー場	34,913人	36,611人
会津高原流山スキー場	24,721人	27,348人
合計	234,768人	271,869人

町長は協議結果を踏まえ方針案を確定

だいくらスキー場で「町の指定管理」で継続しては



湯田 哲 議員



会津県議会議員
(一般議員)
[Twitter]

問

このスキー場を新たな

に利用して、これまで学校や関係各社にトップセールス、感懐の挨拶に行く考えは、

町長

これまで町

部関係をはじめとする関係者に対し、アミダ御め積極的なトップセールスを発行していきます。特に今シーズン、だいくらスキー場でス

問

だいくらス

キー場の「民間主導により」とあるが、その民間の方向性の有無に関係なく、これまで通り町の指定管理として継続する考え

町長

指定スキー場の閉鎖に

による入場数の増加など、方針案を決定時からの状況が大きく変わ

り、タウンセンターインの意見などを聞く中、収入増加や経費削減で、更なる努力すれば改善できる余地があると考えています。現時点で「指定管理」として継続する、しない」の

問

昭和KDE（株）会津工場を運営する伏見草壁地区が、500mほど続きます。降雪は県

からの委託で町が代行しています。降雪作業や住民の安心安全

県道黒磯田島線の現況は

町長は道路改良の必要性を継続して要望

ら、その区間の改良工事を早に発注する考え

町長

道路改良の必要性を強く訴えながら継続して要望していきます。



方向車とすれ違いできないほど狭い区間

その物の質問

・栗山山頂を本来の「福山城の雄略方角（雄略方）」として復元しては